



ガバナー・ノミネーの指名から、ガバナー・エレクトを経て7月1日よりガバナーとなりました。

2011～12年度のカリヤン・バネジーRI会長（発音通りの表記）のメインテーマは“Reach Within to Embrace Humanity”すなわち『こころの中を見つめよう 博愛を広げるために』です。RI会長はインド出身の会長であり、宗教的意味合いを強く感じます。そこで、宗教的なお話をさせていただきますと、博愛はキリスト教では無償の愛だと思います。儒教の教えでは仁です。皆様よくご存知の医は仁術なりの仁です。己に克つ、欲望を抑える、他に対するいたわりのある心となります。仏教ではこの博愛は慈悲ということです。利己心のない愛、利己心のない愛を仏教では「慈悲」と呼んでいます。

まさしくインド人の会長の方針には仏教が宿っているテーマだと思います。

また、RI会長は、国際ロータリーの長期計画として、次のとおり3つの優先項目を発表されました。

### 3つの優先項目

#### 1. クラブのサポートと強化

- ・クラブの刷新性と柔軟性を育てる
- ・さまざまな奉仕活動に参加するよう奨励する
- ・会員の多様性を増進する
- ・ダイナミックな新クラブを結成する
- ・クラブと地区における長期計画の立案を奨励する

#### 2. 人道的奉仕の重点化と増加

- ・ポリオを撲滅する
- ・以下の分野における奉仕の継続性を高める
  - ◎新世代奉仕プログラム
  - ◎ロータリー財団の6つの重点分野
    - (1) 平和と紛争予防／紛争解決
    - (2) 疾病予防と治療

(3) 水と衛生設備

(4) 母子の健康

(5) 基本的教育と識字率の向上

(6) 経済と地域社会の発展 → グローバル補助金・新世代奉仕

- ・他団体との協力やつながりを深める
- ・地元と海外の地域社会で多大な成果をもたらすプロジェクトを創造する

#### 3. 公共イメージと認知度の向上

- ・イメージとブランド認知を調和させる
- ・行動を主体とした奉仕を推進する
- ・中核となる価値観を推進する
- ・職業奉仕を強調する
- ・クラブにおけるネットワークづくりの機会、ならびに独自の主な活動について周知をはかるようクラブに奨励する

当地区の方針は『見直しをすすめて 新たな第一歩を』とし、見直しをもう一步進めることとし次の4つの強調事項を掲げます。

### 4つの強調事項

#### 1. クラブのサポートと強化

- ・リーダーを育成する  
入会間もない若い人達にロータリーを理解していただくため、入会歴も古く経験豊かなしかりとしたリーダーを置くこととしました。メークアップの積極的な活用をお願いしたい。
- ・ダイナミックな新クラブの結成  
モーニング例会をするような新クラブの結成やクラブ同士の合併を考えているところは、機会を捉えて例会時間の変更を考える等、若い人の入りやすい新クラブの結成を考えてほしい。

## 2. 地区での人道的奉仕の重点化と増加について

RIでは2億ドルチャレンジというポリオの撲滅運動が進められています。私の年度でこれを終結するという目標としております。その為には今年度の寄付目標は各クラブ1人当たり3,000円（内半分をポリオ広報に利用）のご寄付をお願いしようと思っておりますので、ご理解の程よろしくをお願いします。

## 3. 公共イメージと認知度の向上

### ・公共イメージの向上

来る7月18日にテレビ大阪特別番組の中に協賛の形でインドでのポリオワクチン接種活動が放映されます。これによりポリオイメージとロータリーのイメージの向上を図りたいと考えています。

### ・職業体験事業

中高生の若い方々にロータリアンの職場を知ってもらおうと考えています。現在、当地区では出前授業を行っていますが、今年度は中高生の職場体験事業、キャリア教育を考え、この活動を通じて若い人達の将来の目標達成に寄与したいと考えています。

## 4. 未来の夢計画 (Future Vision Plan)

2013年より財団の仕組みが変更され、補助金制度の活動が少々限定されます。夢計画がスタートしますと手続きが簡素化され、地区の裁量権がアップすることになり、煩わしさが減ってきます。すなわち、私達の奉仕の機会が広がり、ロータリー財団が自分達の財団であるというロータリアンの自覚をさらに養うことが出来ます。

さらに、ロータリー活動を重点分野に集中させることで、補助金の効果を高めることが出来ます。私達の年度はこの計画を十分に理解すべき1年だと思っておりますので、よろしくご理解下さい。

『**すすめ 新たな第一歩を**』を実施するための具体的な強調事項です。当地区会員の方々には、このテーマに沿った活動をお願いします。

## 東日本大震災の支援に向けての当地区の取組について

最後になりましたが、去る3月11日に発生した東日本大震災は国難と言えます。当地区全会員の知恵と活動を震災支援に向けていただきたいと思っております。WCS、MG、DDF、DSG等も全て（出来る限り）震災支援にご活用できるように知恵を絞っていただきたい。また、活動においては、地区でまとめて活動するのが良いのか、IM単位なのか、各クラブごとに考えていくのが良いのか等々を十二分に考えて活動をお願いしたい。

今回の震災の復興には長期間を要すると考えられることから、まずは、長期災害支援の為に（イ）地区として（仮称）災害支援プロジェクトを立ち上げて特化させ、（ロ）資金確保の為に出来るだけ多額の募金を地区に集中させ優先順位をつけて支援活動を行いたいと考えています。なお、資金の収支については出来る限り2ヶ月に1回位の割で報告ができるよう努力します。今こそ、第2660地区のロータリアン全員一致協力して“知恵”と“義援金”を準備して、被災地の復興に力を注ぎたいと強く切望していますので、是非とも皆様方の暖かいご支援を賜りますことを強くお願いいたします。

地区のロータリアン全員の活動があつてこそ、ロータリーの未来が築けます。『**こころの中を見つめよう 博愛を広げるために**』。これが今年度のテーマですので、十分にご理解賜り、是非とも皆様方の暖かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

**見直しをすすめ 新たな第一歩を!!**

以上が2011-12年度に地区のテーマ『**見直しを**